

国名	フィリピン共和国	
案件名	地方上水道整備計画事業(Ⅲ)	
借入人	フィリピン共和国政府	
事業実施機関	公共事業道路省	
交換公文締結	1985年12月	
借款契約調印	1985年12月	
貸付承諾額	2,555百万円	
貸付実行額	1,457百万円	
事業概要と OECF 分	<p>本事業は、フィリピンの人口2万人以下の集落において、清浄かつ十分な水を供給し、地域環境を改善するために、浅井戸、深井戸或いは湧水升(レベルⅠシステム)を15,000ヶ所、公共栓による給水システム(レベルⅡシステム)を150ヶ所、建設または修復するものである。</p> <p>OECF 借款対象は本事業に係わる外貨分の全額である。</p>	
主要計画/実績比較		
スコープ		
1. 工事		
レベルⅠシステム	15,000ヶ所	14,833ヶ所
レベルⅡシステム	150システム	105システム
2. 資機材調達		
トレーラー搭載パーカッションドリル	10台	4台
トレーラー搭載ロータリードリル	0台	3台
車両・資器材	1式	同左
		(変更された資機材有り)
3. コンサルタント・サービス		
エンジニア(外貨分)	72 M/M	75 M/M
ローカルスタッフ(内貨分)	101 M/M	142.5 M/M
工期		
(工事着工-完工)	1987年6月~1990年10月 (41ヶ月)	1988年1月~92年12月 (60ヶ月)
事業費		
外貨	2,555百万円	1,457百万円
内貨	174百万ペソ	242百万ペソ
合計	4,992百万円	2,666百万円
	換算レート(審査時1985年)	(完工時1992年)
	1ペソ=14円	1ペソ=5円

総合評価

(1) 事業範囲

レベルⅠシステムは計画 15,000ヶ所に対し 14,833ヶ所、レベルⅡシステムは計画 150 システムに対して 105 システム建設された。両システムを合わせ、水系疾病の防止に重要な水源の開発数(上水道施設建設数)という観点より見れば、計画 15,150ヶ所に対し 14,938ヶ所(98.6%)の実績であり、概ね計画通りと判断される。

(2) 工期

工期については当初計画に比べ 19ヶ月の遅れがあった。その理由としては、レベルⅡシステムのサイトの見直し、1990年の地震、ミンダナオ島レベルⅡシステム施設工事の入札の遅れ、政変時における治安の悪化と土地収用の難行が挙げられる。地震や政変による遅れはやむを得ないものと考えられるが、レベルⅡシステムサイトの見直しは、実施機関の技術的能力に問題があったためと思われる。

(3) 事業費

工期の遅延原因となった諸問題は、工期ばかりでなく内貨増加の原因ともなった。その一方で、外貨は計画 2,555 百万円から実際 1,457 百万円と大きく減少した。外貨減少の理由は、主に円高による影響および入札時の競争によるものであるが、一部資機材の調達数量変更も影響している。この結果、ほぼ計画通りの上水道施設を建設したにもかかわらず事業費全体としては、大幅なコストアンダーランで終了した。

(4) 実施体制

実施機関の施設建設に対する実施能力は、一応評価される。ただし、レベルⅡサイトの選択見直し、水道組合の組織化の遅れなどからすると、技術力、管理能力にはいまだ改善の余地があるといえる。

(5) 維持管理状況

今回の事業では、上水道施設の完成後において施設を有効に活用するため、施設を管理する集落レベルでの水道組合の結成、登録が重要な前提となっていた。しかし、実際は水道組合の組織化率は、実際にはおよそ 50%に止まっており、引き続き組織化への努力が必要である。

事業効果

- ・本事業施設の受益者は約 240 万人 (計画 250 万人)
- ・地方部での上水道の公共施設利用者の割合が 1987 年 46%から 1994 年 82%に上昇
 - ・水系疾病の発生率が過去最低に低下
 - ・女性の経済社会活動の向上につながる生活用水の運搬に係わる労働の軽減

(備考) 評価報告日：1997 年 3 月

評価手法：机上評価